

I 全学教育科目

経営学科においては、卒業するために全学教育科目より36単位以上修得する必要があります。また、国際経営学科においては、卒業するために全学教育科目より48単位以上修得する必要があります。「長崎県立大学全学教育履修規程」をよく確認し、併せて次の事項に留意してください。

(1) 必修科目

「教養セミナー」などの必修科目の単位は、卒業するために必ず修得しなければならないため、優先して履修登録を行い修得するようにしてください。全学教育科目における、各学科の必修科目は次に示すとおりです。

学 科	経営学科	国際経営学科
教養セミナー	教養セミナー	
自然科学	統計学	
情報科学	情報処理演習 I	
しまに学ぶ	長崎のしまに学ぶ しまのフィールドワーク	
キャリア形成	キャリアデザイン I	
外国語	『英語』または『中国語』のいずれかを選択し、必修科目として8科目8単位修得※	『英語』を必修科目として19科目20単位修得

※経営学科の外国人留学生には適用しません。留学生科目を必修科目として、8科目8単位修得してください。

(2) 選択必修科目

『長崎を学ぶ』科目区分より、2単位以上修得してください。

(3) 選択科目

選択科目として経営学部の学生は14単位以上を修得してください。選択科目とは、上記必修科目及び選択必修科目として修得したものを除く科目をいいます。

(4) ライフスポーツの履修について

「ライフスポーツ」は毎週2時間15週をもって1単位とします。なお、「ライフスポーツ」は2単位まで（2単位を超える単位は卒業要件には含まない）履修することができます。

① 履修方法

各期（前期・後期）の第1週に体育館において履修する授業を決定します。時間割上開設されているライフスポーツから、自分の希望する時間を選択し、履修してください。人数調整を行った上で履修時間割を決定します。第1週の授業選択に欠席した学生については、ライフスポーツを履修できない場合があります。

また、人数調整のため抽選となることがあります。抽選にもれた場合は履修登録の訂正手続きが必要ですので、学生支援課に申し出てください。

② 内容

ライフスポーツは、生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる機会の創出をねらいとして1つの授業の中で複数種目を体験します。

③ 選択の方法

原則として、同一学期に2クラスを同時に履修することはできません。

(5) 英語科目

経営学科「英語実践演習Ⅶ～Ⅸ」は国際経営学科の英語科目を履修していただきます。「英語実践演習Ⅸ」には修得要件（TOEIC 730点）がありますので履修の際に注意をしてください。

【国際経営学科のみ】

(6) 英語科目

国際経営学科の英語科目（必修科目）には次の履修要件、修得要件がありますので注意してください。

科目名	配当年次	履修要件	修得要件
英語実践演習Ⅵ	1 年前期	—	TOE I C 600 点
海外語学研修（英語）	1 年夏季集中	TOE I C 600 点	—
英語実践演習Ⅸ	2 年後期	—	TOE I C 730 点

※国際経営学科では2年次から3年次の進級要件として「英語実践演習Ⅵ」、卒業要件として「海外語学研修（英語）」「英語実践演習Ⅸ」が必修となっています。いずれもTOE I C スコアが修得要件の科目となっているため、TOE I Cの学修は計画的に行ってください。

Ⅱ 専門教育科目

経営学科においては、卒業するために専門教育科目より92単位以上修得する必要があります。また、国際経営学科においては、卒業するために専門教育科目より80単位以上修得する必要があります。「長崎県立大学経営学部履修規程」をよく確認し、併せて次の事項に留意してください。

【経営学科】

専門教育科目は、『学部共通専門科目』、『基幹科目』、『発展科目』及び『ゼミナール』で構成しており、必修科目を40単位、選択必修科目を24単位以上、選択科目を28単位以上修得する必要があります。

(1) 『学部共通専門科目』、『基幹科目』及び『ゼミナール』は、全科目必修です。

(2) 『発展科目』の詳細は次のとおりです。

『経営・マーケティング関連分野』から10単位以上、『会計関連分野』『経済関連分野』の2分野から各4単位以上

『実践科目』のうち6単位必修、「新聞で学ぶ経済Ⅲ」「簿記演習Ⅰ」「ファイナンシャルプランニング演習」「販売・経営管理演習」のいずれか2単位必修および、「地域と企業演習」「地域における経営実践」のいずれか4単位必修

なお、『実践科目』のうち次の科目には検定試験等の修得要件がありますので注意してください。

科目名	配当年次	修得要件
新聞で学ぶ経済Ⅱ	2 年前期	日経 T E S T 300 点
新聞で学ぶ経済Ⅲ	3 年前期	日経 T E S T 430 点
簿記演習Ⅰ	3 年前期	日商簿記検定 2 級
ファイナンシャルプランニング演習	3 年後期	ファイナンシャル・プランニング技能検定 2 級
販売・経営管理演習	3 年後期	リテールマーケティング（販売士）検定 2 級

※経営学科では2年次から3年次の進級要件として「新聞で学ぶ経済Ⅱ」が必修、卒業要件として「新聞で学ぶ経済Ⅲ」「簿記演習Ⅰ」「ファイナンシャルプランニング演習」「販売・経営管理演習」が選択必修となっています。いずれも検定試験合格等が修得要件の科目となっているため、検定試験等の修得に向け計画的に学修を行ってください。

- (3) 『選択科目』として学科専門科目の中から28単位以上を修得する必要があります。なお、国際経営学科の『学科専門科目』の『基幹科目』及び『発展科目』（『国際経営関連分野』『経営・経済関連分野』）より8単位を上限として含めることができます。
- (4) 『発展科目』のうち「簿記演習Ⅰ」（1年前期担当科目）があります。この科目はアカウントティングコース向けに1年次配当となっていますが、アカウントティングコース以外の学生は、1年次配当の「簿記論Ⅰ」「簿記論Ⅱ」「財務会計論Ⅰ」、2年次配当の「簿記論Ⅲ」「簿記論Ⅳ」「財務会計論Ⅱ」「工業簿記」「原価計算論」を修得してから3年前期に「簿記演習Ⅰ」を履修してください。

（アカウントティングコースの場合）

専門教育科目は、『学部共通専門科目』、『基幹科目』、『発展科目』及び『ゼミナール』で構成しており、必修科目を74単位、選択必修科目を12単位以上、選択科目を6単位以上修得する必要があります。

- (1) 『学部共通専門科目』、『基幹科目』及び『ゼミナール』は、全科目必修です。
- (2) 『発展科目』の詳細は次のとおりです。
『会計関連分野』の全科目必修
『経営・マーケティング関連分野』『経済関連分野』の2分野から各4単位以上
『実践科目』のうち10単位必修、「地域と企業演習」「地域における経営実践」のいずれか4単位必修
なお、『実践科目』のうち次の科目には検定試験等の修得要件がありますので注意してください。

科目名	配当年次	修得要件
新聞で学ぶ経済Ⅱ	2年前期	日経TEST300点
簿記演習Ⅰ	1年前期	日商簿記検定2級
簿記演習Ⅱ	1年後期	税理士試験1科目 日商簿記検定1級 全経簿記能力検定上級 いずれか1つ以上合格

※経営学科アカウントティングコースでは、2年次から3年次の進級要件として「新聞で学ぶ経済Ⅱ」「簿記演習Ⅰ」、卒業要件として「簿記演習Ⅱ」が必修となっています。いずれも検定試験合格等が修得要件の科目となっているため、検定試験等の修得に向け計画的に学修を行ってください。

- (3) 『選択科目』として学科専門科目の中から6単位以上を修得する必要があります。なお、国際経営学科の『学科専門科目』の『基幹科目』及び『発展科目』（『国際経営関連分野』『経営・経済関連分野』）より6単位を上限として含めることができます。

【国際経営学科】

専門教育科目は、『学部共通専門科目』、『基幹科目』、『発展科目』及び『ゼミナール』で構成しており、必修科目を56単位、選択必修科目を8単位以上、選択科目の単位を16単位以上修得する必要があります。

- (1) 『学部共通専門科目』、『基幹科目』及び『ゼミナール』は、全科目必修です。
- (2) 『発展科目』の詳細は次のとおりです。

『国際経営関連分野』から6単位以上

『経営・経済関連分野』から2単位以上

『実践科目』のうち22単位必修

なお、『実践科目』のうち次の科目には検定試験等の要件がありますので注意してください。

科目名	配当年次	履修要件	修得要件
新聞で学ぶ経済Ⅱ	2年前期	—	日経TEST300点
海外ビジネス研修	3年夏季集中	TOEIC730点	—

※国際経営学科では、2年次から3年次の進級要件として「新聞で学ぶ経済Ⅱ」、卒業要件として「海外ビジネス研修」が必修となっています。検定試験合格等が履修要件もしくは修得要件の科目となっているため、検定試験等の修得に向け計画的に学修を行ってください。

- (3) 『選択科目』として学科専門科目の中から16単位以上を修得する必要があります。なお、経営学科の『学科専門科目』の『基幹科目』及び『発展科目』（『経営・マーケティング関連分野』『会計関連分野』『経済関連分野』）より8単位を上限として含めることができます。
- (4) 国際経営学科1年生の学生は、前期は水曜4限、後期は月曜4限に「オフィスアワー」が設定されております。「オフィスアワー」は必須です。履修登録時に注意してください。

Ⅲ 共通事項

修得要件がある科目については、定期試験最終日までに、資格の証明書等の写しを提出してください。提出しない場合は、成績が「保留」となります。なお、学内で実施している資格試験等については、大学で把握ができますので、提出の必要はありません。(TOEIC IP、日経TEST)